

道北家族会だより

第32号 道北知的障がい児・者家族会

令和7年1月発行

安心して本人・家族が暮らし続けるためには



9月7日（土）、旭川市障害者福祉センター（おびった）において、令和6年度道北知的障がい児・者家族会の研修会が27人の皆様が参加して行われました。

研修会は、『安心して本人・家族が暮らし続けるためには

～10年先・20年先の「安心」が展望できなければ意味がない～』と題しての講演を、旭川市立大学 保健福祉学部 教授 北村 典幸 氏にお願いしました。

研修会の主な内容は次のとおりです。

「親亡きあと」の知的障がいのある我が子らの将来に不安を感じる家族も多いなか、「知的障がい者のこれからの暮らし」について 家族が どう考えていけばよいのか。

- ・障がい者の生活実態調査結果は、大多数が「相対的貧困」で、自立した生活は難しい。
- ・障害者（自立⇒総合）支援法が施行されて約20年、安心な社会になったか？

確かにサービスや事業所は増え、少しは「便利」になったかもしれない。成年後見制度もある。でも、変わっていない。「安心」とは ほど遠い。施設やGHに入居しても安心できない。 かつても今も「親亡き後」 「この子より一日だけ長く生きたい」「行けるところまで行くしかない」

・施設での虐待は後を絶たず、就労事業所での解雇も多い。
講演では、結論として、緊急かつ長期的に公的施策が必要で、「安心保障」を求める運動が必要としました。

道家連役員会

11月2日に道家連役員会が北広島市で開催されました。議事は次のとおりでした。

- ・道東地区オホーツク福祉園の施設移転計画について
前回報告時から大きく進展したとのこと
- ・地区報告（各地区より）
- ・2025年度からの役員体制と運営方針について
- ・2025年度道家連定期総会及び研修会について
2025年5月25日（日）北広島市で開催することが決定
- ・道家連規約及び行政への要望項目等の見直しについて
- ・道家連副会長の交代 小谷氏⇒能勢氏



全施連理事会

10月22日に全施連理事会が神戸市及びオンラインで開催されました。

議事は次のとおりでした。

- ・上半期の状況及び下半期への取り組みについて
事業執行状況について、収支中間決算（一般・特別）について
- ・諸規程の改定について
組織拡大のために定款等を改定する件
- ・パンフレットの改正について
- ・組織実態調査への取り組みについて
- ・能登半島地震災害義援金について



全施連研修会

10月23日に『障害福祉サービス等報酬改定に伴う障がい者支援施設の現実一切れ目のある支援一』講師：社会福祉法人高知小鳩会 前理事長 南守氏（全施連副理事長）と題して、オンライン講演で全施連研修会が行われました。

講演では報酬改定の問題点が説明された他に、地域連携推進会議またマイナンバーカード保険証の話などもありました。



この講演の録画をパソコン、スマホ、タブレットがあれば視聴することができます。道北家族会事務局 nemu-son-wakisaka@xpost.plala.or.jp までメールでお申し出ください。折り返し事務局長植村より視聴方法をご案内するメールをお送りいたします。

全施連全国大会 in かごしま

令和7年10月21日(火)~22日(水)の2日間

鹿児島市で6年ぶりに全施連全国大会が開催されます

プログラムなど後日詳しくご案内します

「家族会 施設のご紹介」
今回はお休みします。